

大阪湾漁場環境速報

平成30年3月8日発行
兵庫のり研究所

神戸地先から沖合にかけて、タラシオシラが主体として多く発生しておりその海域では弱い赤潮が確認されました。それ以外の海域では珪藻の発生量は全般に少ない状況にあります。大阪湾全体に栄養塩は平年より低く推移しています。

(水温) 表層は湾内8~10℃台で、平均9.0℃。平年比約0.8℃低い。-10m層も平均9.0℃と平年比約0.7℃低い状況。

(塩分) 表層平均31.43psu(平年 31.26)。-10m層平均31.85psu(平年 32.11)。

(栄養塩、他) 表層の窒素は平均2.3μg-at/L、リンは平均0.21μg-at/L。-10m層(平均)は、窒素2.6μg-at/L、リン0.28μg-at/L。今週初め(3/5)比較的まとまった降雨があり、神戸地先や大阪府沿岸域で陸水の影響が見られた。しかし、神戸地先から沖合にかけてはタラシオシラが主体として多く発生しているため、窒素は2μg-at/L台と低い値であった。一方、湾奥から関西空港北部にかけては、珪藻は比較的少なく窒素は4μg-at/L以上の値を示した。紀淡海況周辺では外洋水(水温・塩分が高い)の流入が見られ、その海域で窒素は概ね4μg-at/L前後であった。湾中央部においては珪藻がほとんど確認されないものの、栄養塩が大きく低下した海域も見られる。まとまった降雨による湾全体での栄養塩の底上げが望まれる。

上段 (今回値)	平成30年3月7日調査
中段 (昨年値)	平成29年3月6日調査
下段 (平年値)	3月上旬

調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 (μg-at/L)	磷酸 (μg-at/L)
04	10.1	32.59	4.0	0.38
	10.5	31.75	2.7	0.30
	10.6	32.47	3.4	0.32
05	9.2	31.05	1.3	0.13
	10.4	31.46	2.3	0.30
	9.6	31.89	2.3	0.25
06	8.6	31.86	2.5	0.32
	10.3	31.77	2.7	0.34
	9.6	31.42	3.3	0.24
07	8.9	31.57	1.0	0.16
	10.4	31.46	6.4	0.70
	9.8	31.79	3.1	0.30
08	9.3	31.90	0.8	0.16
	10.9	31.96	2.8	0.33
	10.0	31.84	2.1	0.23
09	9.5	32.22	2.1	0.27
	10.6	31.42	3.9	0.44
	10.0	31.78	2.4	0.23
010	8.7	31.51	0.6	0.09
	10.4	31.43	3.4	0.36
	9.7	31.58	2.0	0.19
012	8.5	31.18	4.1	0.21
	10.2	30.37	0.7	0.07
	9.6	30.91	4.0	0.21
013D	8.4	31.10	4.6	0.26
	10.3	28.74	1.4	0.05
	9.6	30.00	5.7	0.21
016	8.8	29.73	2.9	0.11
	10.0	28.30	1.0	0.06
	9.6	28.86	10.7	0.27
017D	8.5	28.81	14.3	0.36
	10.7	27.44	29.4	0.58
	9.7	28.24	20.8	0.58
018	8.7	28.06	10.4	0.81
	11.0	20.57	47.6	0.99
	9.7	22.73	34.7	0.97
S1	8.6	30.51	2.4	0.13
	10.0	29.30	0.6	0.06
	9.5	30.62	3.7	0.19
S2	8.6	30.19	2.9	0.14
	9.9	28.90	0.5	0.04
	9.4	29.80	5.7	0.19
S3	8.6	31.68	2.5	0.27
	10.2	31.32	10.0	0.98
	9.8	31.05	4.2	0.27
S4	10.1	32.63	3.5	0.39
	11.5	32.45	3.3	0.35
	10.5	32.44	3.0	0.30



